談 話 室

企業からの論文による情報提供と その価値について

浅 井 泰 行

エーザイ株式会社製剤研究所
〒501-6195 岐阜県羽島郡川島町竹早町1番地

(2004年10月7日受理)

Supply of Information from the Paper Prepared by the Researcher of the Company and Its Value

Yasuyuki ASAI

Formulation Research Laboratory, Eisai
1 Takehaya-machi, Kawashima-cho,
Hashima-gun, Gifu 501-6195

(Received October 7, 2004)

筆者は製薬企業に勤務し、製剤研究に従事しているが、企業研究者にとって研究成果は何で図られるのか考えてみたい。一般に研究成果は論文を発表した雑誌のインパクトファクターと、論文あたりの引用回数で評価される。すなわち、引用回数の多い論文が優れた論文であるといえる。薬学分野の大学・企業別論文数と引用度（論文あたりの被引用数）の高い大学・企業を表1に示す（根岸正光，薬学図書館，49, 179（2004）より引用）。

この中で、武田薬品工業，藤沢薬品工業，エーザイ，大正製薬が含まれていることは，これらの企業で行われている研究が，学問的にも役に立ち，それを公開することにより社会に貢献していることを意味する。当然，企業研究は社の特許戦略にも左右されるので，せっかくの

研究成果も特許戦略のため公開できないものも数多くあるに違いない。そんな中でこれら4社が文献引用度上位20位の中に入っていることは快挙であるといえる。製薬企業の場合，新薬を上市し，患者様に一日も早く使っていただくことが経営の根幹にあると思うが，一方で役に立つ論文を多く執筆し，学問的にも社会に貢献することも同様に重要なことではないだろうか？

上述したことは製薬企業に限らず，化学やエレクトロニクスなどの分野にもあてはまると思う。筆者は製薬企業の図書担当も兼任しているので，上述したような情報を収集しており，今回この場を借りて情報提供したが，もし他業種でこのような情報を収集している方がいれば，是非紹介していただければ幸いである。

表1 薬学分野の大学・企業別論文数と引用度（引用度上位20）
（1993-2002年，ISI NCRJ 1981-2002に対する調査結果）

順	機関名	論文数	引用度
1	大阪府公衆衛生研	109	20.4
2	東京理科大学	153	12.3
3	武田薬品工業	157	11.0
4	藤沢薬品工業	234	9.9
5	大阪市立大学	189	9.4
6	東京女子医大	179	9.3
7	京都大学	743	9.2
8	慶応義塾大学	133	7.8
9	金沢大学	290	7.5
10	愛媛大学	110	7.4
11	群馬大学	142	7.3
12	エーザイ	179	7.3
13	北海道大学	451	7.3
14	千葉大学	451	7.2
15	大正製薬	179	7.0
16	東京大学	1034	6.9
17	京都薬科大学	366	6.9
18	昭和大学	162	6.8
19	名古屋大学	342	6.7
20	都立衛生研	106	6.7